

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No. 19
2013. 12



掲載内容

サーモンアーム市 友情の門にて

稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して
サーモンアーム親善訪問団受入れ事業に参加して
第2回、第3回稲敷市姉妹都市交流委員会懇談会
ホストファミリー募集のお知らせ

○姉妹都市交流事業(海外派遣・受入れ)の詳細は稲敷市 HP <http://www.city.inashiki.lg.jp/>
(市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業)

○稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！問い合わせは企画課内事務局へ：029-892-2000

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●



「ありがとう」
“You are welcome”
団長 山本 益実

私が『ありがとう』と言うと、サーモンアームの皆様からはすぐに“ You are welcome”が返ってきます。私はその度に心地よくなりました。“You are welcome”こんな素敵な言葉が素直に出るお国柄って素晴らしいと感じた11日間でした。私たちはサーモンアーム市の素晴らしさを、体験や経験を通して感じ取ることができました。この貴重な交流体験・経験を、私たちは市の皆様方にお伝えすると共に、自分の生活にも生かしたいと思えます。

たくさんの優しさに感激

―派遣事業に参加して―

派遣(H25.8.17~8.27)

第7回 稲敷市親善大使海外派遣団名簿

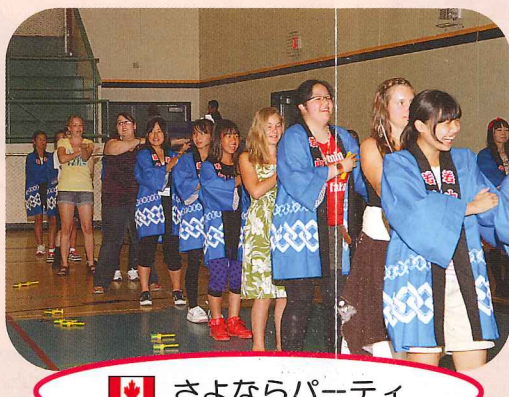
団長	山本 益実(阿波小校長)
親善随員	山本 彰治(姉妹都市交流委員会)
指導員	坂本 久江(あずま東小教諭) 大竹 典子(江戸崎中教諭)
団員	山本ゆり恵(中等教育学校5) 平山 舞(高1) 丘野 将基(中2)
	内田 慧介(中等教育学校2) 篠田 愛華(中2) 小柳津瑠渚(中1)
	長妻 未留(中1) 清水 穂香(中1) 笥 佳華(中2) 高木 玲(中2)
	松本みほ(中2) 古山 利高(中1) 有坂 航(中1) 石井 実玖(中2)
	岡野 彩衣(中2) 萩原 優奈(中2) 貝瀬 愛美(中2) 田中 優花(中2)



🇨🇦 湖でのキャンプ



🇨🇦 クッキー作り



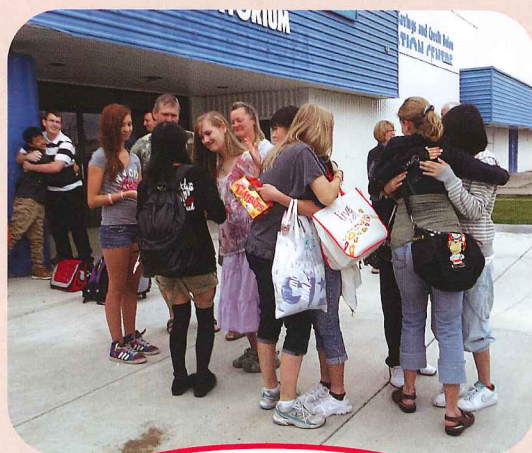
🇨🇦 さよならパーティ



🇨🇦 Tシャツ染め・竹馬



🇨🇦 砂金採り・アーチェリー



🇨🇦 お別れの時



🇨🇦 レイククルーズにて

石井 実玖

私はこの派遣事業を通じて、初めて海外に行きました。そして初めてホームステイを体験しました。最初は不安な気持ちがあったのですが、私のホストファミリーは、その気持ちを吹きとばしてくれるくらい、明るく、優しい人達ばかりで、改めてカナダに行ってよかったなと思いました。私の両親は、私をカナダに派遣してくれました。だから今度は、沢山英語の勉強をして両親を海外につれて行ってあげたいです。

派遣時の主なスケジュール

- ・歓迎式
- ・自然散策ツアー
- ・「友情の門」見学
- ・高校訪問
- ・キャンプ
(ウォークライミング、アスレチック、アーチェリー)
- ・さよならパーティ
- ・パンフ観光
- ・コロンビア大氷原観光

丘野 将基

僕は世界の文化などに興味があり、海外へ行くのが夢でした。その夢が叶ったと共に、ホームステイを体験させていただいたことを本当にうれしく思います。僕はあまり英語が話せなく不安がいっぱいで始まりました。しかし、ホストファミリーと会い、英語が分からなくてもホストファミリーが優しく接して教えてくれたので、楽しい11日間になりました。またカナダに行きたいと思いました。皆さんも機会があったら参加してみてください。

心をこめた「おもてなし」

―受入れ事業に参加して―

受入れ(H25.3.24~3.31)

第7回 受入れホストファミリー名簿

伊藤 幹太(中3)	田中 優花(中1)
浅野 友里(中3)	池田 芽以(高1)
朝日向千明(中1)	大谷みなみ(中2)
根藤 光(高3)	山口あかな(中2)
江寺 理紗(中2)	根本 祐輔(大1)
※学年は受入れ当時	
石井 道朗(一般)	吉田多嘉子(一般)
塚本みち子(一般)	



🇨🇦 中学校交流会



🇨🇦 さよならパーティ



🇨🇦 飾り巻き寿司作り



大谷 みなみ

私は最初 Samanthaを受け入れた時、言葉の面に壁を感じていました。しかし、時間が経つにつれ心に余裕も出てきました。一緒に山ほのお菓子を食べたり、夜遅くまで語り合ったりという何でもない事が思いに残りました。言葉や国を越えて気持ちを一つにすることが出来ました。私にとってこの一週間はかけがえのないものになりました。

受入れ時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会(新利根中学校)
- ・稲敷あちゃん食堂
(稲敷の食材での昼食、飾り巻き寿司作り)
- ・大杉神社見学
- ・東京一泊研修
(東京ディズニーシー、東京スカイツリー、浅草)
- ・さよならパーティ

伊藤 幹太

カナダからのホストファミリーを受け入れた感想は三つあります。一つ目は、言葉の壁は伝えたい気持ちがあれば、なんとかなるということです。日本語、英語、ジェスチャーを混ぜて笑顔でどんどん話せばOKでした。二つ目は、相手にとっては何でもない日常と一緒に過ごすことが楽しいんだということです。トイレの扉に飾ってあった人形をカメラに納めているのには驚きました。最後に、自分にとっても、稲敷市の良さがわかってよかったことです。タイソン君がいなければ、稲敷市の史跡巡りを進めることは無かったと思います。受入れを迷っている人には、“思い切って受け入れて”とアドバイスしたいです。

おもてなしと挑戦

姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗

3月の受入れ、8月の派遣事業が終了しました。今回の受入れ事業では「稲敷のおもてなし」をテーマに、稲敷の食材を使った弁当の試食や飾り巻き寿司作り、新利根中学校での墨絵体験等、日本文化と稲敷のよさをPRすることができました。



派遣事業では、初めての海外一人旅。ホストファミリーとの英語でのコミュニケーション、サーモンアーム市のインフラ等に興味関心を持つなど、異文化体験と英会話力の向上というテーマに沿った体験をすることができました。特に印象だったことは、今回の派遣を通して、「自分の家族のよさ」を再認識することができたという団員がいたことでした。

おかげさまで、今年もたくさんの成果を得ることができました、ぜひ機会がありましたら交流事業に参加してみたいはいかがでしょうか。

第2回姉妹都市交流委員会懇談会



4月22日、平成24年度サーモンアーム市親善使節団受入れホストファミリーと交流委員会会員による懇談会が開かれました。

ホストファミリーからは、「コミュニケーションがなかなかとれず、携帯のアプリを使いながらコミュニケーションをとった。」「言葉、食事共に充実した時間だった。今でもメールで連絡を取り合っている。」「見た目と違って、すごく謙虚な子だった。」「いつもの食事、いつもの生活の中に入ってもらった。全部日本語で話しかけた。あまり気負わないのが良かったと思う。」「といった感想がありました。

第3回姉妹都市交流委員会懇談会



10月6日、平成25年度稲敷市親善大使派遣団報告会並びに解団式が行われました。その終了後、派遣団員と交流委員会会員による懇談会が開かれました。

派遣団員からは、派遣事業を体験して、「チャレンジ精神が身についた。」「ホストファミリーがフレンドリーで、分かりやすい単語を使ってくれた。」「家族の大切さが分かった。」「などといった感想がありました。また、「今後は英語をもっと勉強して、家族を海外へ連れて行きたい。」「英語を頑張り、もっと相手のことを知り、日本のことも伝えたい。」「などといった、目標も聞かれました。

ホストファミリー募集のお知らせ

姉妹都市「カナダ・サーモンアーム市」からの親善訪問団が、平成26年3月23日(日)～3月30日(日)の1週間、来市します。団員の子供達をホームステイさせていただける「ホストファミリー」を募集します。受入れに際しては、特に個室やベッド、洋食などを用意する必要はありません。一般的な日本家庭での生活体験を楽しみにして来ますので、気軽に友達として接してください。自宅にいながらにして身近な国際交流を体験できる絶好のチャンスです！

■募集要件

- ① メインホストとして受入れの期間中一緒に行動できる中学生～大学生がいること
- ② 受入れ協力(宿泊、食事などの提供)が可能なご家族
※1人につき25,000円の補助あり
- ③ 受入れ説明会及び英会話研修会に参加できること
※平成26年2月16日(日)江戸崎公民館
午後1時30分から

■募集人数 約10人を予定

■申込方法 平成26年1月7日(火)までに稲敷市役所
企画課:029-892-2000へお申込みください。

INFORMATION

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使派遣事業、親善訪問団受入れ事業など稲敷市の実施する姉妹都市(サーモンアーム市)との幅広い活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

問い合わせ・申込みは企画課内事務局:029-892-2000 まで

○稲敷市ホームページをご覧ください

この姉妹都市交流事業(海外派遣・

受入れ)の詳細は稲敷市HP

<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

(市政→プロフィール→姉妹都市・

国際交流事業)内に掲載されております。

親善大使派遣、親善訪問団受入れの募集についても、公募しております。

サーモンアーム



青少年親善大使 カナダ・サーモンアームへ

市では毎年夏に青少年親善大使として、カナダ・サーモンアーム市へ稲敷市在住の中学生・高校生を派遣しています。1週間のホームステイを通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。募集は5月頃を予定しています。詳しくは稲敷市役所企画課へお問い合わせください。

交流委員会広報委員

山本 彰治(委員長)、塚本 みち子(委員)、倉田 九豪(委員)

編集後記

今回の派遣に随行しまして、実感したことは、この交流は「熟成」されているんだな、ということでした。深い「味」があります。サーモンアームの方々の顔と顔を見ていると、この友情は何ものにも代えがたいものと感じるばかりです。子どもたちのためだけでなく、この交流は大切にしたいと思います。

編集: 姉妹都市交流委員会広報委員
稲敷市役所企画課